

JVCA からのお知らせ

1. 新規会員区分創設

VC会員区分の中にコーポレートベンチャーキャピタル会員、賛助会員区分の中にベンチャーキャピタリスト会員を創設しました。

<コーポレートベンチャーキャピタル会員>

自社または自社の属する企業集団の事業(金融関連業務を除く)との事業シナジーを得ることを主要な目的として未公開企業へ投資及び支援を行っている法人

<ベンチャーキャピタリスト会員>

個人のうちベンチャーキャピタル会社に属する者

2. JVCA ホームページをリニューアル

JVCA のホームページ <http://jvca.jp/> をリニューアルいたしました

3. 勉強会等のご案内

◆ JVCA 定例勉強会

原則として月1回、VC会員・賛助会員を対象とした勉強会を開催しております。
過去2か月間に開催された定例勉強会は以下の通りです。

第50回(9月16日開催)

テーマ ベンチャーファンドが海外投資家から出資を受ける場合の税務上の取扱い

講師 新日本アーンスト アンド ヤング税理士法人

パートナー 関谷 浩一氏

第1回 ICT ベンチャー・グローバル・マネジメント・プログラムセミナー (10月15日開催)

テーマ ベンチャーのためのグローバル戦略・展開のポイント インタロダクション編

講師 早稲田大学大学院商学研究科

准教授 池上 重輔氏

第51回(11月19日開催)

テーマ 機関投資家攻略法～LPは何を求めているのか

講師 アストリアコンサルティング株式会社

代表取締役 森本 晴久氏

臨時(12月9日開催)

テーマ 改正独禁法の施行に向けて

講師 経済産業省 経済産業政策局 産業組織課 競争環境整備室

室長補佐 朝山 志乃氏

企画二課長 太田 賢志氏

4. 会員の变更

【新規入会】

12月15日付 賛助会員 株式会社 TOKYO AIM 取引所 (<http://www.tokyo-aim.com>)

【休会】

10月27日付 賛助会員 住友商事株式会社

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.23

■発行日 平成21年12月16日

■発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング

TEL: 03-3595-6616 FAX: 03-3595-6617

E-mail: jimukyoku@jvca.jp URL: <http://jvca.jp/>



「第2回 中国・四国地区 VC トップ懇談会」開催

(10月30日)JVCAでは、昨年に続き中国・四国地区のVC各社のトップ(代表者)間の情報交流を目的として、「第2回 中国・四国地区 VC トップ懇談会」を開催しました。

開催概要

日時: 2009年10月30日(金)

会場: リーガロイヤルホテル広島

出席者:

中国・四国地区 VC 10社

いよぎんキャピタル株式会社

株式会社エス・ケイ・ベンチャーズ

株式会社香川銀キャピタル

ごうぎんキャピタル株式会社

とっとりキャピタル株式会社

株式会社広島ベンチャーキャピタル

山口キャピタル株式会社

日本アジア投資株式会社広島支店

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

三菱UFJキャピタル株式会社大阪支社

経済産業省経済産業政策局新規産業室

中国経済産業局

JVCA 呉会長、安達副会長、松田理事、

千田理事、企画部、会長室

各社の代表者に加え、オブザーバーとして多数の方が参加し、総勢32名での懇談会となりました。



第2回中国・四国地区 VC トップ懇談会の様子

懇談会の内容

1. 各社紹介

2. JVCA協会活動の報告

(1) 委員会活動報告

(2) 産業革新機構への取り組み

3. 勉強会

グローバル化の中でのベンチャーの

成長戦略 呉 雅俊 (JVCA 会長)

4. 講演

ベンチャー企業を取り巻く環境の改善に向けて

～今後の取り組み課題～

経済産業省新規産業室 柿原新規事業調整官

5. 自由懇談

中国・四国地区のVC各社が抱える経営上の課題、取組状況などについて様々な観点で積極的な意見交換が行われました。共通の課題・問題への意識を高め合う良い機会となりました。

懇親会

懇談会終了後、会場を移動し懇親会を開催しました。中国・四国地区VCを代表して、JVCA理事であるごうぎんキャピタル池淵社長からご挨拶を頂き、広島ベンチャーキャピタルの合谷社長の乾杯で懇親会が行われ、良い交流の機会となりました。



会計委員会 「公正価値に関する論点の整理」に対する意見書提出

さる8月7日、企業会計基準委員会（ASBJ）より「公正価値測定及びその開示に関する論点の整理」が公表され、当協会はこれに対し10月5日に意見書を提出しました。本論点整理は、国際会計基準（IFRS）へ向かう流れの中、国際会計基準審議会（IASB）が現在進めている公正価値の定義及びIFRSにおける公正価値測定の指針に対する検討に呼应し、企業会計基準委員会（ASBJ）より議論の整理を図ることを目的として意見の募集があったものです。公正価値測定に関する議論は、この後、2010年第1四半期に公開草案が公表され、第3四半期には方向性が決定される見込みとなっています。一方で、未公開株式に関しては、同じく国際会計基準審議会（IASB）より「金融商品：分類及び測定」の公開草案が出され、平成21年9月14日に意見募集が締め切られています。

未公開株式の評価の取扱いに関し、現行の国際会計基準（IAS）39号にて設けられている「時価のない有価証券は取得原価と減損にて処理できる」とされる例外規定の廃止について、明確に論点として掲げられており、国際基準における廃止が決定されれば、今後VCの保有する未上場株式についても公正価値評価が必要とされると想定されます。国際会計基準審議会（IASB）の動向を見つつ、2010年第4四半期に公開草案が発表され、2011年に決定される予定です。当協会は、今後の業界にとって非常に影響のある公正価値に関する議論を深めるとともに、関係官庁や顧問会計士等との連携を図り、より実態に即した会計基準の設定に向けて活動していきます。引続き会員各位のご協力をお願いいたします。

税務委員会 「平成22年税制改正に関する要望書」の提出について

10月14日に平成22年度税制改正要望書を提出いたしました。日本の産業基盤を支える日本の中堅中小企業の成長促進のために、民間の活力を有効活用し、長期で安定的なリスクマネーの供給にインセンティブを与えるような税制面からの手当を要望しました。主な項目は、

法人投資家向けのエンジェル税制の創設、有価証券の評価損を税務上の損金に算入できる基準の明確化、個人投資家エンジェル税制の適用条件の緩和、投資事業有限責任組合へ投資する外国組合員に対する課税の特例の適用要件変更等の要望を行っております。

企画部 産業革新機構と民間ベンチャーキャピタルとの連携について（報告）

今年7月、株式会社産業革新機構の営業がスタートしたことに伴って当協会よりさる7月31日、民間VCと協調し相互に発展していくための方向性について意見をとりまとめ、意見書を提出いたしました。その後引き続き、呉会長と安達副会長をはじめとする協会理事が中心となり、同機構と民間VCとの協力体制を求め訪問いたしました。

産業を創出するにあたっての目下の課題や、環境の整備なども含め、相互の能力を最大限に生かすための分野や方法など、同機構とVC業界との連携に向けた具体的な提案を行いました。本件については、今後も、当協会加盟のVCだけでなく、非会員VCも含め、業界全体で活動を行っていくべき事項であると考えております。

具体的には、民間VCのこれまでの取り組みや投資育成の具体的な実績などに関しさらなる理解を求めだけでなく、国際競争力のあるイノベーションシステムの創造に向け、日本の新

法務委員会 改正独占禁止法

改正独占禁止法の施行期日は、2010年1月1日となりました。この度の改正法において当業界に関わることは、主に①株式取得の事前届出制の導入や②株式取得の届出基準の見直し等が挙げられます。①では、届出の際の閾値が企業グループベースで20%超及び50%超の2段階に変更されています。また、②の

届出基準では、株式取得会社（買収会社）は、その企業グループの国内売上高の合計額200億円超の場合とされ、また株式発行会社（被買収会社）については、当該会社及び子会社の国内売上高の合計額が50億円超の場合とされています。法務委員会では、会員向けの勉強会などを開催するなどして対応してまいります。

調査・研究委員会 ベンチャーキャピタリスト研修（冬季コース）受講者募集

JVCAでは今年度も比較的经验が浅いVCの投資担当者を主な対象に、「ベンチャーキャピタリスト研修」を実施します。投資スキルの向上のみならず、ネットワークの

構築にも役立つプログラムとなっております。JVCAホームページにて受講者を募集しております。実施会場・受講料を確認の上お申込みください。

《ベンチャーキャピタリスト研修の実施予定》

回	テーマ	講師	実施日
1	ベンチャーキャピタルの仕組みとベンチャーファイナンス Venture Capital という Business Model は生き残れるか?	秦 信行(國學院大學) 樋原 信彦(立命館大学)	1月30日 午前
2	デューデリジェンス & バリュエーション ①投資機会の検討	松澤 芳邦(三菱UFJキャピタル)	1月30日 午後
3	デューデリジェンス & バリュエーション ②バリュエーション	有本 雄観(日本アジア投資)	2月6日 午前
4	デューデリジェンス & バリュエーション ③総合	玉澤 康一(大和SMBCキャピタル)	2月6日 午後
5	ディールストラクチャー Due Diligence & 投資契約	深川 哲也(MIコンサルティンググループ) 後藤 勝也(AZX Professionals Group)	2月13日 午前
6	付加価値サービス	近藤 Nick 直樹(アント・キャピタル・パートナーズ)	2月13日 午後
7	投資回収(Exit) ① IPO	仮屋 蘭 聡一(グロービス・キャピタル・パートナーズ)	2月20日 午前
8	投資回収(Exit) ② Trade Sales	深沢 英昭(東京海上キャピタル) 澤 詩朗(KPMG FAS)	2月20日 午後

広報委員会 海外VC協会との交流

9月29日ニューメキシコ州VC協会会長で全米VC協会(NVCA)理事でもあるFlywheel Venturesのマネージングパートナー Trevor Loy氏とゼネラルパートナー Kim Sanchez Rael氏が、10月22日には欧州VC協会(EVCA)のGeorges Noel理事がJVCAを訪れ、呉会長と意見交換を行いました。一方、JVCAから、9月に香港VC協会(HKVCA)、10月に欧州VC協会(EVCA)、英国VC協会(BVCA)を訪問し情報交換を行いました。引き続き海外VC

協会との交流を進めていきます。



■ Flywheel Ventures と JVCA 呉会長